

福井正明市長 所信表明



高島市を次なるステージへ 将来に向けた礎を築く

おこし

この度の高島市長選挙におきまして、大変多くの市民の皆様からのご支持をいただき、2期目の市政をお預かりすることになりました。市民の皆様のご期待にしっかりと応えるためにも、誠心誠意、全力で市政運営にあたらないければならないと決意を新たにいたしますとともに、改めてその責任の重大さを認識しているところであります。

4年前の平成25年2月に初めてこの高島市長の職をお預かりし、これまでの4年間、実にさまざまな事案が発生いたしました。その都度、各メディアなどに取り上げていただき、市民の皆様には、そ

さらには、地域コミュニティや集落機能の低下、地域産業の担い手の減少による農地や山林のさらなる荒廃といったことが容易に予想されます。

このため、平成27年10月に「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。人口減少がもたらすさまざまな課題を克服し、将来にわたって安心して暮らし続けることができる地域社会づくりを進めるため各種施策を推進してまいりました。

例えば、若者定住につなげるために中学3年生までの医療費の完全無料化や保育料の無料化などにより子育て支援の充実、あるいはふるさと納税の取り組みや、特産品海外販売戦略等の事業展開によりまず地域産業の活性化や雇用増進、さらには、今年から現場着工を迎えます会員制リゾートホテルの誘致等、さまざまな施策を組み合わせて事業展開を図ってまいりました。

また、今年4月からは、職員の皆さんの手作りで作りあげていただいた第2次高島市総合計画の初年度を迎えることになり、これからの10年間、高島の魅力である水と緑を守り、そしてその生活から



平成29年2月28日開会の高島市議会定例会において、福井正明市長は、2期目の市長就任にあたっての所信を述べました。ここでは、その概要を紹介いたします。

の時々々の市政のあり方が伝えられましたが、時には大変な心配や、ご迷惑をおかけしてしまつたところでもあります。

こうした事案の多くが、それまでに必要な課題への対応が先送りされていきました結果の表れであったり、また、この高島市がいつかは乗り越えなければならぬ課題でもありました。このような課題への対応は、高島市という自治体が変わらなければならない長い歴史の中でまさに試金石であり、その対応を誤つたり、また、さらに先送りすることを選択すれば、将来におけます歴史的な評価となつて表れるものであると自分自身にも言い聞かせながら精一杯の対応

生まれる「恵み」を大切にしながら、高島市に「誇り」を持てるまちづくりを進め、「住みたい、住み続けたい 高島」の実現に向けて、計画的、総合的に全庁あげて取り組むこととなります。

次のステージへ

まさにこれからの4年間は将来の高島市のまちづくりそのものを方向付ける極めて重要な時期を迎え、次なるステージへ導くための転換期とも位置付けております。こうした取り組みを継続することが、今の高島市にとりまして、最も重要なテーマでもあります。私達の次の世代に自信と誇りを持って引き継ぐためにも、総力を挙げて取り組まなければなりません。



をしてきました。

そしてまた、私に信頼をお寄せいただき、支持していただきました多くの市民の皆様のご期待や信頼を裏切ることには許されず、そして、そうした対応がこの職をお預かりしている立場にある者の責任と受け止め、ひたすらたゆまない努力を傾注してきたところであります。

人口減少問題に対して

しかしながら、高島市は、今なお、さまざまな課題を抱え、中でも、人口減少は大きな課題でもあります。平成17年1月に6町村が合併して、今年で13年目を迎えますが、合併当時、人口が約56,200人でありましたところ、今では50,257人となり、約6,000人の減少、率にいたしますと10・6%減となっております。こうした人口減少の問題は、高島市だけではなく全国の自治体が直面する、喫緊の課題でもあります。人口減少問題は近い将来、地域経済に大きな影響を及ぼすことにつながり、地域全体が疲弊し、

6つの新未来政策

そのために、先の市長選挙で市民の皆様には、6つの新未来政策をお示しさせていただきましたが、この機会にその一端を述べさせていただきます。

1 産業・観光振興

「産業」：現在ではすでに構想を練り上げているところですが、会員制リゾートホテルの誘致に続く次なる複数のプロジェクトの実現に向けた取り組みにより、雇用の確保や地域経済の活性化、更なるふるさと納税制度の充実による地場産業の活性化を図ります。

「観光振興」：白鬚神社やメタセコイア並木等の観光スポットを活用した観光振興による地域の活性化を図ります。

2 子育て・教育・女性

「子育て」：中学3年生までの医療費や保育料の無料化を実現しましたが、更なる充実を図ります。



「教育」：子どもたちの「確かな学力」を育む教育や、ICTによる情報教育を推進し、創造性や学力の向上につなげます。

「女性の活躍」：男女共同参画の推進のほか、女性の就業支援により、女性が活躍できる環境の整備と支援を行います。

3 医療・福祉・スポーツ振興

本年4月から朽木診療所を高島市民病院に統合し、将来にわたり朽木診療所での医師確保の不安を払拭するとともに、多くの市民の皆様にご心配いただいている高島市民病院の産婦人科については、市民病院の高山病院事業管理者に対して全幅の信頼を申し上げます。これまで対応の協議を重ねてきました。その結果、診療閉鎖は回避することができると見通しとな

り、高山病院事業管理者をはじめ関係いただいた皆様のこれまでのご労苦に対し、心から感謝します。

このように「医療」については、高島市民病院の医師や看護師の確保など、医療体制のさらなる強化に努め、各医療機関と連携しながら高島市民病院を核とした地域完結型医療の推進と在宅医療の充実を図り、地域で安心して医療を受けられる環境を整備します。

「福祉」：高齢者や障がいをお持ちの皆様が健康で心豊かに生活を営んでいただけるようさらに充実します。

「スポーツ振興」：身近なスポーツ機会の充実による健康づくり、生きがいづくりに努めるとともに、各種スポーツ大会の誘致によるスポーツ振興に取り組みします。



庁舎問題

最後に、庁舎問題についてであります。皆様も既にご承知のとおり、市民の皆様にご負担をおかけしながら住民投票まで実施させていただき、民意が明確であったにもかかわらず、議会では高島市役所の位置を定める条例の一部改正案は3度の否決という大変残念な結果になりました。

一方で、庁舎・支所整備事業の予算はご議決をいただいております。予算はご議決をいただいております。予算はご議決をいただいております。予算はご議決をいただいております。予算はご議決をいただいております。

庁舎整備の問題につきまして、今後、民意にしっかりと応えるため、そして、将来の高島市のため、議員各位のご意見をいただきながら、しっかりと取り組んでいかなければならないと考えているところであります。改めまして、議員各位のご理解、ご協力を

4 防災・環境・文化振興

「防災」：市民の皆様の生命と財産をしっかりと守るため、大規模災害に備えた防災力のさらなる向上と、住宅の耐震化を促進します。

「環境」：ご承知のとおり高島市にとって大変な問題となりまして、環境センターの管理運営は、現在、安定的に稼働しているものの、今後のあり方が大きな課題となっております。このことから、将来に向けた整備方針を、あり方も含め早急に対応していきたいと考えています。

「文化振興」：本年度策定した文化振興計画に基づき、高島の地域に根ざした文化活動を大切に、高島の伝統行事や歴史遺産・文化的景観などの保存・継承・活用に努めます。

5 生活基盤の整備

「生活基盤の整備」：市民の皆様にとってはその生命線ともなる国道161号、303号、367号の早期整備の促進、とりわけ国道161号については、この4年

お願い申し上げる次第であります。また「支所機能の充実と強化」

についてであります。支所は、単に窓口業務を行うだけではなく、万一の災害時における地域の防災拠点であり、区・自治会をはじめとする地域住民の皆様のお声をお聞かせいただく地域にとつて大切な施設であります。このことから、必要な耐震改修をはじめとし引き続き支所機能の充実強化に取り組みでまいりたいと考えております。

おわりに

合併から13年目を迎え、市を取り巻くさまざまな環境は、合併時には予測できなかったスピードで目まぐるしく、大きく変化してまいりました。このような社会情勢の変化とともに、高島市も大きな転換期を迎え、高島市のあり方も大きく変わろうとしています。今まさに、変わらなければならぬ時を迎えていると言えます。市政運営にはその時々国内外の諸情勢をはじめとした時代の変化を

間で約61億円の予算付けをしていただき、それ以前の4年間と比較すると、実に6倍を超える事業の実施につながりました。小松拡幅も現実に、また着実に工事が進められています。今後とも積極的に国等に働きかけを行います。また市が管理している多くの老朽化した橋りょうの改修や安全確保、さらには水道施設の老朽化対策などにも取り組みます。近年増加している空き家問題については、その実態把握に基づく適正管理と、移住定住への有効活用に取り組みます。



6 市役所改革の継続

「人材育成の推進による組織力の最大化」：市民へのサービス向上のためには、何よりもまず職員

み解きながら、冷静にまた客観的に将来を見通した自治体「運営」ではなく、自治体「経営」を担わなければならないと。

これからの4年間は、高島市の将来を左右する、極めて重要な4年間となります。市民の皆様とともに、この高島の未来をしっかりと見据えながら、次なるステージへと着実に歩みを進めますとともに、将来に向けた礎をしっかりと築き、「自信」と「誇り」を持つて次の世代に高島市を引き継いでいくことが、私に課せられた重大な使命であると考えております。市民の皆様との約束を守り、そしてさまざまな困難にも真正面から立ち向かい、全身全霊をもって、自らの責任を果たしていく覚悟であります。

どうか議員各位、ならびに市民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。市長就任にあたりましての所信表明とさせていただきます。

所信表明の全文は、ホームページ「Web市長室」の「施政方針」コーナーに掲載しています。